

承第1号

専決処分の報告及び承認について

三島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例について、地方自治法第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求める。

平成30年5月16日提出

三島市長 豊岡 武士

三島市専第1号

専 決 処 分 書

三島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

三島市税賦課徴収条例（昭和26年三島市条例第12号）の一部を次のように改正する。

第20条中「第44条第2項」を「第44条第3項」に、「第46条」を「第46条第1項及び第4項」に、「及び」を「並びに」に改める。

第44条第7項中「第46条第2項」を「第46条第4項」に改める。

第46条第2項を同条第4項とし、同条第1項の次に次の2項を加える。

2 第44条第5項の規定は、前項の延滞金額について準用する。この場合において、同条第5項中「前項の規定にかかわらず、次に掲げる期間（詐偽その他不正の行為により市民税を免れた法人が法第321条の11第1項又は第3項の規定による更正があるべきことを予知して提出した修正申告書に係る市民税又は令第48条の16の2第3項に規定する市民税にあつては、第1号に掲げる期間に限る。）」とあるのは、「当該当初申告書の提出により納付すべき税額の納付があった日（その日が第46条第1項の法人税額の課税標準の算定期間の末日の翌日以後2月を経過した日より前である場合には、同日）から第46条第1項の申告書の提出期限までの期間」と読み替えるものとする。

3 第44条の2第4項の規定は、第1項の延滞金額について準用する。この場合において、同条第4項中「前項の規定にかかわらず、次に掲げる期間（詐偽その他不正の行為により市民税を免れた法人についてされた当該増額更正により納付すべき市民税又は令第48条の15の5第4項に規定する市民税にあつては、第1号に

掲げる期間に限る。）」とあるのは、「当該当初申告書の提出により納付すべき税額の納付があった日（その日が第46条第1項の法人税額の課税標準の算定期間の末日の翌日以後2月を経過した日より前である場合には、同日）から同条第1項の申告書の提出期限までの期間」と読み替えるものとする。

第46条に次の2項を加える。

- 5 第44条第5項の規定は、前項の延滞金額について準用する。この場合において、同条第5項中「前項の規定にかかわらず、次に掲げる期間（詐偽その他不正の行為により市民税を免れた法人が法第321条の11第1項又は第3項の規定による更正があるべきことを予知して提出した修正申告書に係る市民税又は令第48条の16の2第3項に規定する市民税にあつては、第1号に掲げる期間に限る。）」とあるのは、「当該当初申告書の提出により納付すべき税額の納付があった日（その日が第46条第4項の連結法人税額の課税標準の算定期間の末日の翌日以後2月を経過した日より前である場合には、同日）から第46条第4項の申告書の提出期限までの期間」と読み替えるものとする。
- 6 第44条の2第4項の規定は、第4項の延滞金額について準用する。この場合において、同条第4項中「前項の規定にかかわらず、次に掲げる期間（詐偽その他不正の行為により市民税を免れた法人についてされた当該増額更正により納付すべき市民税又は令第48条の15の5第4項に規定する市民税にあつては、第1号に掲げる期間に限る。）」とあるのは、「当該当初申告書の提出により納付すべき税額の納付があった日（その日が第46条第4項の連結法人税額の課税標準の算定期間の末日の翌日以後2月を経過した日より前である場合には、同日）から同条第4項の申告書の提出期限までの期間」と読み替えるものとする。

附則第1条の2第2項中「第46条」を「第46条第1項及び第4項」に、「同条」を「これら」に改める。

附則第1条の2の2第1項中「より第46条」を「より第46条第1項及び第4項」に、「同項」を「前条第2項」に、「係る第46条に」を「係る第46条第1項及び第4項に」に、「同条」を「これらの規定」に改める。

附則第6条の見出し中「平成27年度から平成29年度まで」を「平成30年度から平成32年度まで」に改める。

附則第6条の2の見出し中「平成28年度又は平成29年度」を「平成31年度又は平成32年度」に改め、同条第1項中「平成28年度分又は平成29年度分」を「平成31年度分又は平成32年度分」に改め、同条第2項中「平成28年度適用土地」を「平成31年度適用土地」に、「平成28年度類似適用土地」を「平成31年度類似適用土地」に、「平成29年度分」を「平成32年度分」に改める。

附則第7条（見出しを含む。）中「平成27年度から平成29年度まで」を「平成30年度から平成32年度まで」に改める。

附則第8条（見出しを含む。）中「平成27年度から平成29年度まで」を「平成30年度から平成32年度まで」に改める。

附則第10条第1項中「平成27年度から平成29年度まで」を「平成30年度から平成32年度まで」に改め、同条第2項中「平成30年3月31日」を「平成33年3月31日」に改める。

附 則

第1条 この条例は、平成30年4月1日から施行する。

第2条 改正後の三島市税賦課徴収条例（次条において「新条例」という。）第46

条第2項、第3項、第5項及び第6項の規定は、平成29年1月1日以後に同条第1項又は第4項の申告書の提出期限が到来する法人の市民税に係る延滞金について適用する。

第3条 別段の定めがあるものを除き、新条例の規定中固定資産税に関する部分は、平成30年度以後の年度分の固定資産税について適用し、平成29年度分までの固定資産税については、なお従前の例による。

地方自治法第179条第1項の規定により専決処分する。

平成30年3月31日

三島市長 豊岡 武士